

2024年9月20日

各位

東びわこ農業協同組合



SDG s 債券への投資に関するお知らせ

東びわこ農業協同組合（代表理事理事長 柳本 上司、以下「当組合」）は、持続可能な社会の実現につながることを期待して、「大塚ホールディングス株式会社第4回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(グリーンボンド)」(以下「本債券」)に投資したことをお知らせいたします。

グリーンボンド（英語：green bond）とは、企業や地方自治体等が、国内外の地球温暖化をはじめとする環境問題の解決を目指す事業（グリーンプロジェクト）に要する資金を調達するために、発行する債券のことであり、サステナブルファイナンスの一種です。

当組合は、幅広い事業分野において環境に配慮した取り組みを実施しており、本債権のサステナビリティ・リンク・ボンドはじめ SDG s 債券への投資を通じ、収益性の確保のみならず、環境施策への貢献も果たしてまいります。

記

【本債券の概要】

銘柄	大塚ホールディングス株式会社第4回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(グリーンボンド)
発行日	2024年9月20日
発行年限	7年
発行額	100億円

※大塚グループは、社会課題を起点に新たな市場を創造し、同時に社会価値を創出するサステナビリティ経営を推進しています。本年、第4次中期経営計画に合わせ、新たに4つのマテリアリティとして「トータルヘルスケア企業として世界の人々へウェルビーイングを提供」「企業理念を実現する人財の育成と環境整備」「ビジネスパートナーと協働したサステナブルな社会の実現」「地球環境への負荷低減」を特定しました。

このうち、「地球環境への負荷低減」においては、事業活動におけるすべての環境負荷をゼロにするという2050年環境ビジョン「ネットゼロ」のもと、中期目標を掲げ、取り組みを行っています。本グリーンボンドによる資金調達により、再生可能エネルギーのさらなる活用、また新しい技術やソリューションの活用を通じた環境負荷低減を推進し、脱炭素社会ひいてはサステナブルな社会の実現を目指してまいります。

グリーンボンド・フレームワークの詳細は、大塚ホールディングス株式会社のホームページ掲載されている開示資料をご覧ください。

(<https://www.otsuka.com/jp/csr/environment/greenbonds.html>)

※持続可能な開発目標（SDG s）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと

以上